

新型コロナウイルス感染者の  
自宅・宿泊療養における呼吸状態  
の観察とアセスメント

藤田医科大学病院 救急総合内科  
岩田充永

制作協力:田元成仁

(藤田医科大学病院 救急総合内科)

# 新型コロナウイルス肺炎の特徴

- 1 **無症状**でも肺炎になっている人がいる。
- 2 低酸素になっても **自覚症状がない**人がいる。
- 3 重症化が**急激**な経過で起こる。

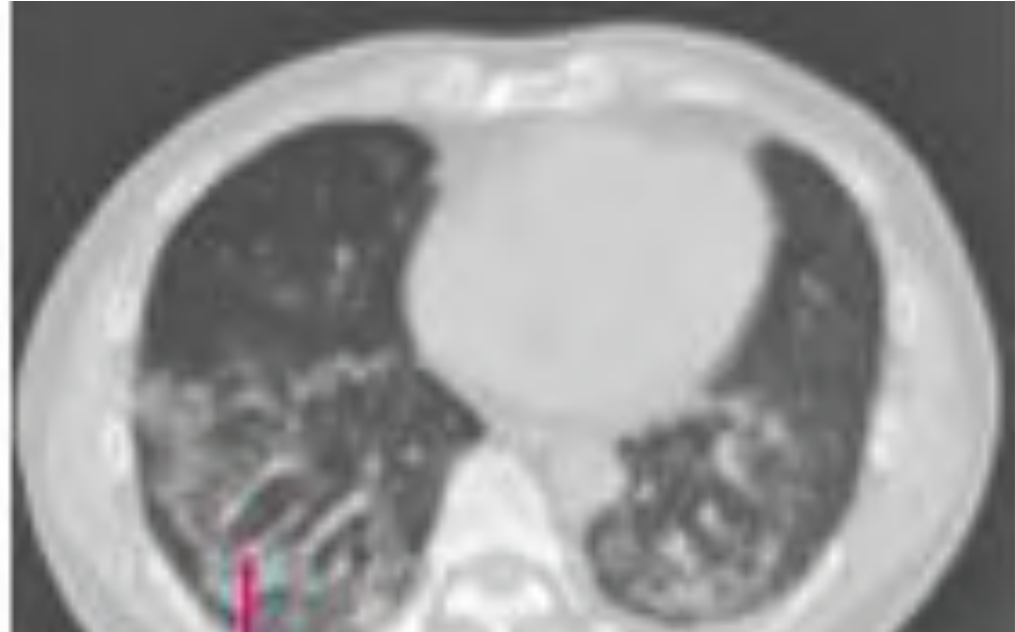
横山俊樹.これまでと何が違う？  
現時点での知見に基づくCOVID-19の呼吸管理のポイント  
みんなの呼吸器 Respica 2021 vol.19 no1

# 無症状でも肺炎になっている



横山俊樹.これまでと何が違う？  
現時点での知見に基づくCOVID-19の呼吸管理のポイント  
みんなの呼吸器 Respica 2021 vol.19 no1

# 低酸素になっても自覚症状がない



自覚症状がなくても、  
**SpO<sub>2</sub>の低下**や**呼吸回数の上昇**  
は認める。

横山俊樹.これまでと何が違う？  
現時点での知見に基づくCOVID-19の呼吸管理のポイント  
みんなの呼吸器 Respica 2021 vol.19 no1

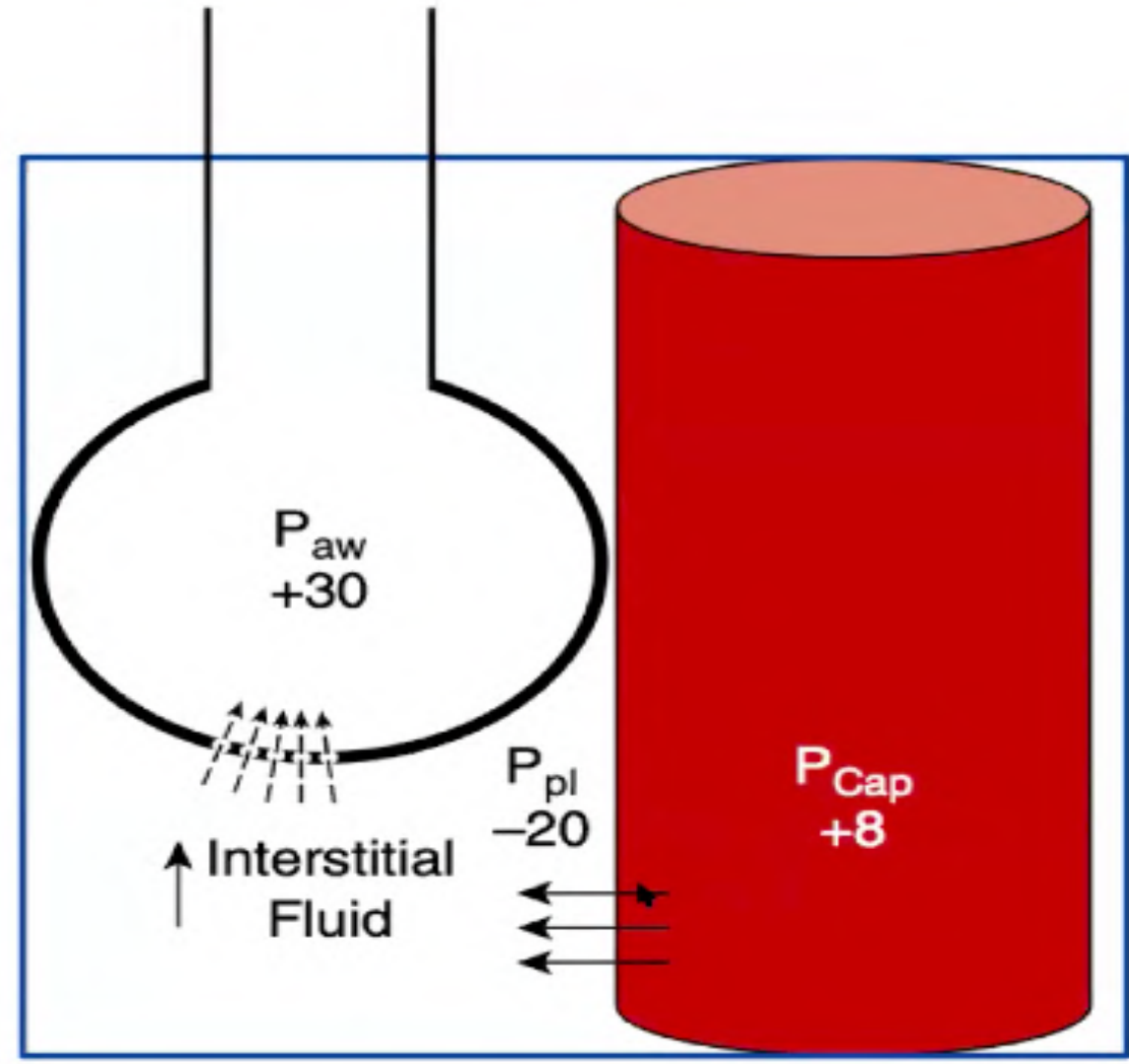
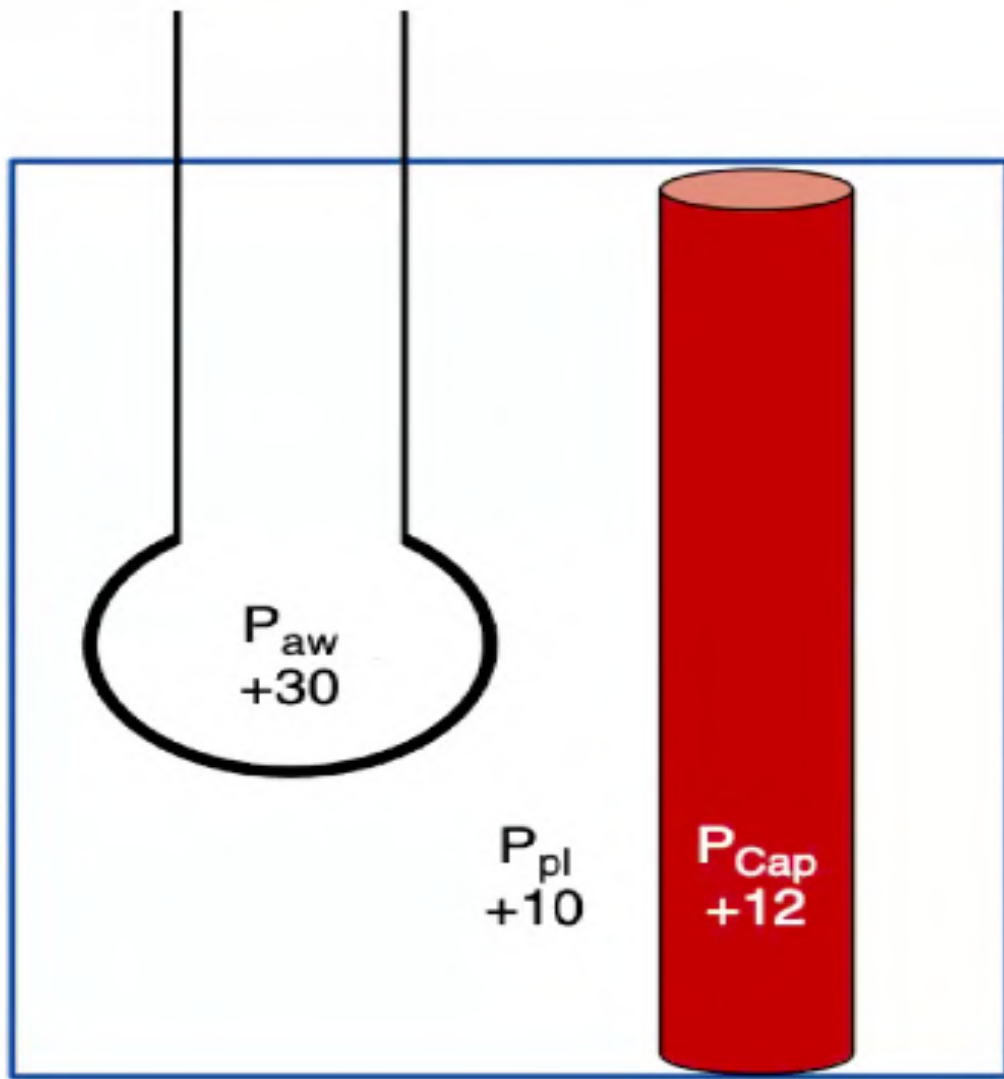
# 新型コロナウイルス肺炎では

- 初期は低酸素は**呼吸努力が増大**し、過換気になっていても**呼吸困難の訴えは乏しい**ことがある。
- 強い呼吸努力は**胸腔内に過度の陰圧**を発生させ、これが**肺障害**の原因となる。
- その他微小肺血栓なども関与していると言われている

自斃呼吸関連肺障害

**P-SILI**

(Patient Self-Inflicted Lung-Injury)



過度な吸気で肺胞の**過膨張**と**間質の浮腫**をもたらす

新型コロナウイルス肺炎では・・・

P-SILIを抑制することが

**肺障害の予防**

に重要と考えられている。

鎮和夫、大塚将秀、近藤康博ら.人工呼吸 Jpn J Respir Care 2021;38:2-11



# 新型コロナウイルス肺炎の酸素療法の目的

- 1 低酸素血症に伴う臓器障害の回避
- 2 低酸素血症の改善により**呼吸努力の回避**

# 在宅での新型コロナウイルス感染症への酸素投与

- 1 中等症II (**SpO2 93%以下**) で酸素投与を開始する。
- 2 **自覚症状のない低酸素血症**に注意する。  
→SpO2のモニタリングが重要となる。
- 3 労作に伴う低酸素血症の場合もあり、**労作時もSpO2測定**を行う。

# Take Home Message

- 1 低酸素血症でも自覚症状がない場合もあり、フィジカルアセスメントが重要である。
- 2 そのため、新型コロナウイルス肺炎では、**呼吸回数の増加、SpO<sub>2</sub>**モニタリングがより重要である。
- 3 **強い呼吸努力**はP-SILI(自発呼吸関連肺障害)を招き、さらに呼吸状態の悪化を招く可能性がある。